





































## ◆NETIS掲載期間終了技術リストの検索

### 3-8、3-9. NETIS掲載期間終了技術検索による一次選定基準に対する評価および選定 NETIS掲載期間終了技術リストより、技術の抽出を行う

- ・「公共工事における新技術活用システム実施要領」（以下、「実施要領」という）で定めるNETIS掲載期間を終了した技術に掲載します。  
ただし、平成27年度以前に掲載期間を終了した技術で、申請者に掲載意思の確認が取れていない技術は掲載していません。
- ・掲載されている技術は、実施要領で定める技術ではありませんので、実施要領でいう「新技術の活用」の対象とはなりません。
- ・掲載されている技術に関する情報は、NETIS掲載期間終了後から更新しません。

※評価済みの技術については、「活用状況」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上

番号	NETIS登録時の技術名称	旧NETIS番号	分類1	分類2	開発会社(問合せ先) <small>※()内の開発会社名は、掲載期間終了後、登録申請者からの報告に基づく情報です。 内容について国交省が責任を有するものではありません。</small>	技術の優位性 (技術の位置付け)	※ 活用状況	NETISからの 削除日
1	KKKKK工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	コンクリート工	コンクリート工	.....	評価済み	☆	H29.4.20
2	LLLLL工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	共通工	ボックスカルバート工	.....	[活用促進]	☆	H29.4.20
3	MMMMM工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	共通工	法面工	.....	評価済み	◎	H29.4.20
4	NNNNN工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	トンネル工	アーチカルバート工	.....	[活用促進]	◎	H29.4.20
5	〇〇〇〇〇工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	共通工	ボックスカルバート工	.....	[設計比較][活用促進]	◎	H29.4.20
6	PPPPP工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	共通工	かご工	.....	評価済み	◎	H29.4.20
7	QQQQQ工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	コンクリート工	コンクリート工	.....	[活用促進]	◎	H29.4.20
8	RRRRR工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	河川海岸	その他	.....	評価済み	◎	H29.4.20
9	SSSSS工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	共通工	擁壁工	.....	[設計比較][活用促進]	◎	H29.4.20
10	TTTTT工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	共通工	ボックスカルバート工	.....	評価済み	◎	H29.4.20

◆一次選定工法の集計(キーワード・工種分類の重複整理およびNETIS掲載期間終了技術)

凡例  重複して選定した工法

①	キーワード検索	②	工種分類検索	③	NETIS掲載期間終了技術検索		
1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	AAAAA工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	1	KKKKK工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)		
2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	BBBBB工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	2	LLLLL工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)		
3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	CCCCC工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	3	MMMMM工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)		
4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	DDDDD工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	4	NNNNN工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)		
5	EEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	5	EEEEE工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	5	00000工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)		
6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6	FFFFF工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	6			
7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7	GGGGG工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	7			
13	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)	13	IIIII工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-V)				
14	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)	14	JJJJJ工法(〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE)				
計	14	計	14	計	5		0
重複	—	重複	14	重複	0	重複	0

工法数合計(のべ) 33      —      工法重複数合計 14      =      工法数 19 件

## ◆一次選定工法一覧表の作成

### 3-11. 一次選定工法一覧表

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	備考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	..... ..... .....	..... ..... .....	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	..... ..... .....	..... ..... .....	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	..... ..... .....	..... ..... .....	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	..... ..... .....	..... ..... .....	
5	EEEEEE工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	..... ..... .....	..... ..... .....	
6	FFFFFF工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	..... ..... .....	..... ..... .....	

## ◆二次選定基準に対する評価および選定

### 4. 二次選定表

#### 4-1、4-2. 二次選定基準の設定による評価および選定

- ① 道路(高盛土)下を横断する函渠に適した剛性ボックスカルバートの技術  
 ② 土被り最大6.0m、ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用可能な技術  
 ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内)

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	二次選定基準評価結果	二次選定	選 定 理 由	備 考
1	AAAAA工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	..... ..... ..... .....	..... ..... ..... .....	① 道路(高盛土)下を横断する函渠に適した剛性ボックスカルバートの技術 → 〇 ② 土被り最大6.0m、ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用可能な技術 → 〇 ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → 〇	○	全ての基準を満足するため、選定する。	
2	BBBBB工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	..... ..... ..... .....	..... ..... ..... .....	① 道路(高盛土)下を横断する函渠に適した剛性ボックスカルバートの技術 → 〇 ② 土被り最大6.0m、ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用可能な技術 → 〇 ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → 〇	○	全ての基準を満足するため、選定する。	
3	CCCCC工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	..... ..... ..... .....	..... ..... ..... .....	① 道路(高盛土)下を横断する函渠に適した剛性ボックスカルバートの技術 → 〇 ② 土被り最大6.0m、ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → 〇	×	ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用不可であるため選定しない。	
4	DDDDD工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-VE	..... ..... ..... .....	..... ..... ..... .....	① 道路(高盛土)下を横断する函渠に適した剛性ボックスカルバートの技術 → 〇 ② 土被り最大6.0m、ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ×	×	ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用不可であるため選定しない。	
5	FFFFF工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	..... ..... ..... .....	..... ..... ..... .....	① 道路(高盛土)下を横断する函渠に適した剛性ボックスカルバートの技術 → 〇 ② 土被り最大6.0m、ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → 〇	×	ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用不可であるため選定しない。	
6	GGGGG工法	〇〇-〇〇〇〇〇〇-V	..... ..... ..... .....	..... ..... ..... .....	① 道路(高盛土)下を横断する函渠に適した剛性ボックスカルバートの技術 → 〇 ② 土被り最大6.0m、ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用可能な技術 → × ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → 〇	×	ボックスサイズ8.0m×8.0mに適用不可であるため選定しない。	

## ◆二次選定比較表の作成

※ 開発者等に単価等をヒアリングし、比較表を作成

### 5-1. 二次選定比較表の作成

工 法 名		従来技術(函渠工(現場打カルバート工))	AAAAA工法	BBBBB工法	CCCCC工法
登 録 番 号		-	〇〇-〇〇〇〇〇-A	〇〇-〇〇〇〇〇-V	NETIS掲載期間終了技術
開 発 会 社		-	□□□□会社	△△△△会社	〇〇〇〇会社
技 術 概 要		道路の下を横断する道路や水路等の空間を得るために盛土或いは地盤内に設けられる構造物をカルバートと言い、カルバート工はカルバートを構築する一連の行為を指す技術である。			
特 長 ・ 短 所					
概 算 工 事 費	施 工 費				
	材 料 費				
	特 許 料				
	合 計				
	工 事 費				
概 算 施 工 日 数					
経 済 性			向上○%	向上○%	向上○%
工 程			短縮○%	短縮○%	短縮○%
品 質 ・ 出 来 形			向上	向上	向上
安 全 性		従来技術であるため基準とする	向上	向上	向上
施 工 性	特 殊 機 械		有	有	有
	施 工 性		向上	向上	向上
環 境 ( 景 観 性 )			向上	向上	向上
開 発 地 域 ( 地 整 ) ※開発会社の本社所在地とする					
留 意 事 項					
施 工 実 績 (過去3年程度)	国 土 交 通 省	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	地 方 自 治 体	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	そ の 他	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
特 許 等	特 許	-	-	-	-
	特 許 使 用 料	-	-	-	-
	実 施 権 設 定	-	-	-	-
備 考					

従来技術は  
現場条件を  
考慮し設定

ヒアリング等により作成

## ◆結論

※ 二次選定比較表より、工法選定の重要事項の抜粋および留意点等を整理し、工法選定の結果をとりまとめる。

現場条件に該当する技術は、○技術が選定された。  
以下、工法選定の重要事項について、二次選定表より抜粋した。  
また、NETISより活用効果評価結果を別資料として添付する。

工 法 名	○○○○	△△△△	□□□□	▽▽▽▽	◇◇◇◇	☆☆☆☆
登 録 番 号	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	○○-××××-◎	NETIS掲載期間終了技術
技術の位置付け(有用な新技術)	[ 設計比較対象技術 ]	[ 設計比較対象技術 ]	[ 設計比較対象技術 ]	[ 設計比較対象技術 ], [ 活用促進技術 ]		
概 算 工 事 費	○○、○○○円/m <sup>2</sup>	△△、△△△円/m <sup>2</sup>	□□、□□□円/m <sup>2</sup>	▽▽、▽▽▽円/m <sup>2</sup>	◇◇、◇◇◇円/m <sup>2</sup>	☆☆、☆☆☆円/m <sup>2</sup>
概 算 施 工 日 数	○○m <sup>2</sup> /日	△△m <sup>2</sup> /日	□□m <sup>2</sup> /日	▽▽m <sup>2</sup> /日	◇◇m <sup>2</sup> /日	☆☆m <sup>2</sup> /日
施 工 実 績 (過去3年程度)	国土交通省	全国 ○○○ ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )
	地方自治体	全国 ○○○ ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )
	そ の 他	全国 ○○○ ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )	全国 ○○○ m <sup>2</sup> ○○ m <sup>3</sup> )
留 意 事 項		材料の注文から納品まで、 2箇月程度必要		特殊機械及び○○資格者 による特殊な施工となり、施 工業者に制限がある。		

### 工法選定の留意点

- ① 上表の概算工事費及び概算施工日数は、施工規模○○m<sup>2</sup>以上の場合とする。なお、工事費は概算であり、実際の積算には使用できない。
- ② 『△△△△』の材料は受注生産となり、注文から納品まで2箇月程度必要となる。
- ③ 『▽▽▽▽』については、特殊機械及び○○資格者による特殊な施工となり、施工業者に制限がある。